

MCIスクリーニング検査

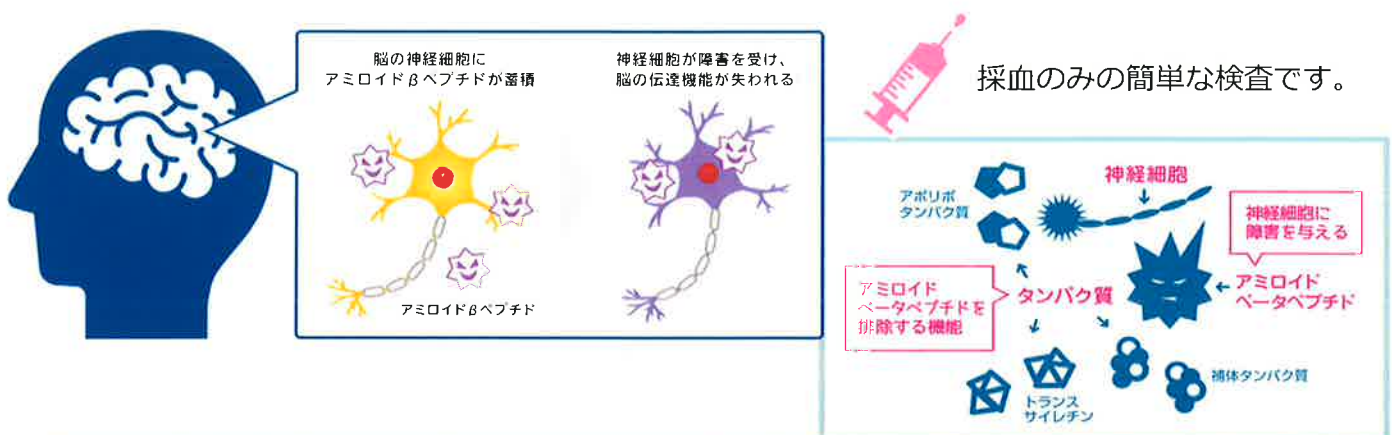
◆ 軽度認知障害とは？

認知症にはいくつか種類がありますが、日本ではその半数以上をアルツハイマー型認知症が占めるとされています。MCI(軽度認知障害)とは、正常な物忘れと認知症の間にあるグレーゾーンです。この段階で放置してしまうと過半数の方が認知症へ移行してしまいますが、MCIのリスクを知り、早期から適切な予防を行うことで認知症への移行を食い止めることができます。



◆ MCIスクリーニング検査とは

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドが脳内に蓄積して神経細胞がダメージを受けることで発症するといわれています。本検査では、このアミロイドベータペプチドへの「防御力」に関わる3つのタンパク質の血中濃度を調べることでアミロイドベータペプチドを算定し、軽度認知障害のリスクを評価しています。



MCIスクリーニング検査で早期に認知症のリスクを知り、適切な対処・予防を行うことで、認知症の予防が可能になります。

こんな方におすすめです！

- ✔ 最近、もの忘れが増えてきた…
- ✔ 肥満や糖尿病など生活習慣病の恐れがある…
- ✔ 親や家族の様子が少し変わった気がする…



報告レポートイメージ

【報告レポートサンプル】

MCBI 太郎 様の検査結果は、以下の通りです。
軽度認知障害（MCI）リスク判定

MCIの方の分布を示すグラフ

※ "▲" のある位置が、あなたのMCIリスクを示しています。

判定	判定	説明
A	A	健常です。 今後も健康的な生活を心がけましょう。
MMSE得点	B	軽度認知障害（MCI）のリスクは低めです。 健康的な生活を積極的に習慣づけることでMCIのリスクを抑えることができます。予防の効果は早いほど高いので、生活習慣を改善し予防に取り組みましょう。
30	C	軽度認知障害（MCI）のリスクは中程度です。 今後の生活習慣によってはMCIのリスクが高まります。食事や運動などの生活習慣を見直し、ただちに予防に取り組みましょう。また、心配な方は専門医による早期の検査・診断を受けられることをおすすめします。
	D	軽度認知障害（MCI）のリスクは高めです。 MCIの段階でも予防により認知症の発症を防ぐ・遅らせることが可能です。すぐに予防を始めるとともに、専門医による詳細な検査・診断を受けられることをおすすめします。

- 2 -

【別冊資料】

Ⅲ 認知症の早期発見のために

認知症の早期発見

認知症の早期発見や重症化を防ぐためには、日常生活の中で注意することが大切です。MCIの段階では健常者が一般的に比べて、忘れやすくなる傾向があります。しかし、健常者でも健忘になることはあります。このように健忘が増える場合は、MCIと見られる可能性があります。早期発見・早期診断を受けることで、適切な治療を受けることができます。

MCI早期発見チェックリスト

- 朝の起床時や夕方になると忘れやすくなる
- 料理の材料を忘れた
- 物や人がどこかへ行ってしまった
- 物や人がどこかへ行ってしまった
- 物や人がどこかへ行ってしまった
- 物や人がどこかへ行ってしまった
- 物や人がどこかへ行ってしまった
- 物や人がどこかへ行ってしまった

予防法②

食事

予防のための生活習慣とは？

認知症予防 マニュアル

田平 武
徳島大学大学院 医学部

判定結果はリスクに応じてA～Dの4段階にて報告致します。受診後の認知症予防のための取り組みを解説した別冊資料も提供いたします。

※ 判定結果に影響を与える可能性がある疾患について

急性障害、急性腎障害、自己免疫性腎疾患などの自己免疫性疾患（急性期）、重度の栄養不良などの方は本検査において影響を受ける可能性がございます。補体タンパク質（C3）の活性化がおきる疾患では本検査の判定結果に影響を与える可能性があります。トランスサイレチン（TTR）は栄養状態で変動します。極端なダイエットなどでは本検査の判定結果に影響を与える可能性があります。

予約に関するお問い合わせ

医療法人博美会 渡辺医院

☎ 086-422-3161